

Pal

～仲間



2015
Summer Edition
Vol.86



世界の♡^{ハート}やまとから
第10回やまと国際交流フェスティバル
ご来場いただきありがとうございました



Contents

「お買い物」が力になる.....2～3

Hello Everybody! ～外国人市民インタビュー.....4

行ってみたいな あの店この店【ニューデリービストロ】.....5

地域国際関係団体・活動一覧.....6～7

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ.....8



「お買い物」が力になる

チームピース チャレンジャー

私たちは、途上国の貧困解決の一環としてインド、バングラデシュ、ネパールの女性や子どもたちの自立支援活動に取り組んでいます。

インドで最貧地域と言われているビハール州ガヤ地区では、学校の子どもたち500人に給食を提供するための学校給食プロジェクトを2009年から行っています。これは、貧しい子どもたちに無償で教育を行っている学校で、子どもたちが一週間に一度の美術の時間に作成するミサンガを販売し、給食費に充てるというものです。

また、その村の教育を受けられなかった女性たちのための職業訓練所に、大和市から洋服、編み物の指導者を派遣して技術指導を行っています。そこで作製した製品をフェアトレード(公正な貿易)品として、日本で販売することで、生活支援を行っています。

フェスティバルでは、子どもたちのミサンガと、女性たちの作る衣類や小物を販売しました。

これらの商品は、市内で開催している販売会などでもお求めいただけます。



問い合わせ

チームピース チャレンジャー大和支部
 Tel: 080-3529-5135 (蔵田)
<http://peace3hse.com> Email: erikurata@sky.plala.or.jp

ラテンアメリカ青少年の会 (CCJL)

私たちは、横浜の鶴見区で、外国につながる児童生徒のための学習支援活動を行っています。2000年9月に、カルメン坂本、長谷川真、牧野和敏の3人により発足しました。当初は日本に住むラテンアメリカ出身の青少年が自分たちの母国をより深く理解するための自主的な活動に協力することを通して多文化共生や青少年育成、国際理解の推進に寄与することを目的としていました。例えば、クリスマス会を初めとするいろいろな行事に、両親や協力者が料理を作って持ち寄り、ラテンアメリカの文化を紹介していました。

その一方で日本人ボランティアによる学習支援が桜木町の市民活動センター内で毎土曜日にありました。昨年から支援を受ける子どもたちの多くが鶴見付近に住んでいることもあり、鶴見国際交流ラウンジで隔週土曜日に開催するようになりました。時代と共にラテンアメリカ出身の小、中学生が少なくなり、今は地域を選ばずにアジア出身者の子どもたちが学習しています。

フェスティバルでは、彼らの母国の文化につながるような民芸品を販売しました。



問い合わせ

勉強を支えてくださる方々を募集しています。
【活動日】第2・第4土曜日 午後2時~4時
【活動場所】鶴見国際交流ラウンジ
 Tel: 080-5532-0581 (鈴木) Email: ccjl@yahoo.com

NPO法人WE21 ジャパン大和

私たちは、アジアの人々の生活の質の向上と自立のための活動を支援することを目的に活動しています。具体的には、市民の皆さんから無償の寄付(衣類や雑貨など)を寄せていただき、ボランティアの協力で販売するという、非営利のリユース・リサイクルショップ「WE21ショップやまと」を桜ヶ丘駅前前で運営しています。

主な活動は4つあります。

- 資源の再利用**…一度はいらなくなった品物にもう一度使用価値を生み出し、貴重な資源を循環させる。その他、環境にやさしい暮らしの提案として、店頭での廃油の回収などもしています。
- 民際支援活動**…収益の一部はアジアの国々の女性や子どもたちの生活向上のための海外支援活動に生かす。支援先の人たちとの交流で、顔の見える関係を続けていく。また、東北の被災地はじめネパールの緊急支援活動にも取り組んでいます。
- フェアトレード**…フェアトレードの商品を継続して扱うことにより、アジアの女性たちの生活向上に寄与する。
- WE講座の開催**…日々の活動から見てきた様々な問題について共に学ぶ場を作る。

フェスティバルには、日頃からお店で取り扱っている商品を持ってきました。ご興味がある方は、ぜひお店にも足をお運びください。



問い合わせ

WE21ショップやまと
 〒242-0024 大和市福田1-9-4 ライオンズマンション桜ヶ丘駅前107
 Tel&Fax: 046-269-1343
 営業時間 月~土曜日 10:30~17:00(5月~9月は 10:30~17:30)

ラテンアメリカの視覚障害者と歩む会 ~ロス アンダントス~

私たちは2013年、ラテンアメリカの視覚障害者の自立をサポートすることを目的に、横浜で発足しました。

ラテンアメリカは、日本から遠く離れた場所にあります。代表者自身が視覚障害者ということもあり、これほど離れた地域の視覚障害者はどのような生活をしているだろうか?何か協力できることはないだろうか?と考えたのが会の始まりです。

メンバーが20代から60代まで幅広いのが面白いところだと思います。ラテンアメリカに興味を持って入会した人、視覚障害者支援に興味を持って入会した人などきっかけは様々で、それぞれの得意分野を生かして活動を行っています。

現在は、月に1回の定例会を行っているほか、フリーマーケットや各種イベントに出店して活動をPRしたり、ペルーの民芸品などを販売したりしています。また、昨年3月と今年4月にはペルーに現地調査に行き、国立盲学校や視覚障害者のリハビリセンターへ寄付を届けたり、現地の視覚障害当事者と交流を図りました。

今回のフェスティバルでは、ペルーで購入してきた民芸品とボリビアを支援しているカフェの焼き菓子等を販売しました。



問い合わせ

Email: los_andantes_2014@yahoo.co.jp

5月24日、今年も第10回やまと国際交流フェスティバルが無事終了しました。楽しんでいただけましたか？
 私たちのフェスティバルでは、「フリーマーケット」のコーナーがあって、非営利で活動している地域に暮らす外国人のグループや、多文化共生活動をしている団体、国際協力をしている法人等が出店しています。
 いったい皆さんはどんな活動をしているの？私たちが買ったものはどこから来たの？そして買ったお金は何に役立つの？？お話を聞かせていただきました。



NPO法人地球市民ACTかながわ/TPAK

「与えるのではなく、立ち上がる力を子ども達に」

私たちは、アジアの途上地域の子も達が一でも多く教育を受け、幸せで明るい未来を自ら切り開くことができるよう、タイ、ミャンマー、インドで少数民族と農村部の子もと女性の、教育と健康と自立のための支援活動を1993年から行っています。そして、私たち自身も、彼らから学ぶ“共に支えあう思いやり心”を通して、自分の足元を見つめ直し、本当の豊かさを取り戻すことができるような地球市民社会の実現を目指しています。

日本国内では、東日本大震災復興支援として、釜石市の2つの保育園の新園舎建設支援、心と体のケアなどの活動を行っています。その他にも、小学校から大学での国際理解講座、高齢者による国際ボランティア活動、フェアトレード品販売によるチャリティバザーなどを開催しています。TPAKの特徴はボランティア力です。10～90代まで年間延べ2000人以上のボランティアが活発に活動しています。1人の力が途上国の子も達にとって大きな力となります。皆様のご参加をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。



問い合わせ

〒231-0821 神奈川県横浜市中区本牧原3-1-203
 Tel&Fax: 045-622-9661
 Email: port@tpak.org HP: <http://www.tpak.org/>
 Facebook: <http://www.facebook.com/tpak.org>
<http://www.facebook.com/amiamiclub>

青年海外協力隊神奈川県OB会

私たちは、神奈川県内在住・神奈川県出身の「青年海外協力隊」参加経験者が集まってできた組織です。

それぞれの派遣国(開発途上国)での青年海外協力隊時代の貴重な経験を生かして、国際協力、国際交流、また、地域社会に貢献することを目指して活動しています。

フェスティバルでは、メキシコのコーヒー生産農家から直接豆を買い上げ、フェアトレード商品として販売している、協力隊OGが立ち上げた「豆乃木」という会社のコーヒー。同じく協力隊OGが経営する「HAYA-HAY」というお店のフィリピンの小麦粉の袋で作ったバックを販売しました。これもフェアトレード商品です。また、東日本大震災の震災支援として、陸前高田市の主婦が作ったアクリルたわし(エコたわし)通称ガガのたわし等を販売しました。

豆乃木の商品についてはこちら <http://www.hagakumuhito.net/>
 HAYA-HAYの商品については <http://haya-hay.com/>



問い合わせ

青年海外協力隊神奈川県OB会へはホームページのお問い合わせフォームからご連絡ください。 <http://kocv.jp/index.html>

アマゾンカムカムーヨコハマ

私たちは、「カムカム」というペルーのフルーツを皆さんに知っていただくことを目的に活動しています。

「カムカム」はレモンの60倍ものビタミンC、ワインの7倍ものポリフェノールを含む、スーパーフルーツです。実は、ペルーでカムカムの栽培指導を行ったのは、もともと、JICA(国際協力機構)熱帯作物専門家としてコショウの栽培指導でこの地を訪れていた後藤隆郎という日本人です。30年前のことになります。

カムカムが安定して供給できるようになれば、ペルーの貧困農家の生活は向上し、また、ココインの代替作物になることから麻薬撲滅に繋がります。国際貢献がなされます。試行錯誤を繰り返して、そのカムカムが日本で製品化されたのは2000年頃からです。

日本での販路が拡大すればペルーの農家を支えることにつながります。天然ビタミンC豊富なジュース、キャンディ等を国際交流イベントで紹介、販売をしていますので皆様を知っていただければ光栄に思います。



問い合わせ

小泉由紀子 Tel: 080-5517-8218

DALE! DALE! コクサイ

私たちは、走ることが大好きな地域に暮らす外国人と日本人のランニングチームです。地域の外国人がもっと健康的に体を動かすことができるように、外国人も参加しやすいランニングチームを作って、大会に参加したり、交流を深めたりしています。そして、私たちが走ることで地域の外国人たちももっと健康になればいいなど「チャリティー・チャレンジ・ラン」に挑戦中です。

チャリティー・チャレンジ・ランのしくみ

- ①毎年、その年のはじめにチームのチャレンジ(目標距離・チームで公式のマラソン大会に参加したときにメンバーが走った距離)と、寄付先を発表します。今年のチャレンジは、500km、寄付先は大和市立病院です。
- ②そのチャレンジに対して、1口500円の出資を募ります。
- ③メンバーは、年間を通してチャレンジに参加できるように、体調管理とトレーニングに努め、目標距離を達成するために、マラソン大会に参加します。
- ④チームで参加した大会の合計走行距離が、目標に到達したら、集まった出資金と、メンバー自身の出資金(走った距離×10円)等を足して、最初に発表した寄付先に、お金を寄付します。

フェスティバルでは、出資者の募集を兼ねて、メンバーが作ったハンドメイド品を販売しました。こちらの売り上げは、会の運営と寄付先への寄付にあてます。



問い合わせ

ただいま、一緒に走ってくれるメンバーと出資者を募集しています。
 Email: rummy.enc.py.121855@ezweb.ne.jp (楠)
 Facebookやっています。 www.facebook.com/daledalekokusai

Hello everybody!

外国人市民
インタビュー

ちん かつ 第5回 Y-1グランプリ2015実行委員長
陳 勝さん 中国料理 品珍酒家 大和店 店長



「外国人市民が大和を元気にする」、そんな先を思い描いている私たちとして、ご活躍非常に嬉しく拝見しました。

Y-1グランプリは、大和で活躍している40歳以下の経営者やサラリーマン、大学生などが加入している「大和青年会議所」のメンバーが実行委員会の中心になって開催しています。入会して4年目、大きな役割が回ってきました。

当日は、実行委員のほかに、学生ボランティアなど100人ものスタッフが力を合わせて運営します。役所や保健所への許可申請、出店店舗との打ち合わせ、広報に、ボランティアの手配…。今までにやったことのない仕事、書いたことのない文書作りを、しかも本業の合間にやるので、準備をしていた6か月間は密度の濃い時間でした。ようやくすべて終わって、自分が最初に思っていた以上の達成感を感じています。自分のルーツを知って、力を貸してほしいと声をかけてくれる人が増えたことにも驚いています。自分にできることならば、お手伝いしたいと思いました。

日本生まれ日本育ち、でも国籍は中国。ご自身のルーツをどのように思っていますか？

ほとんど日本人ですね。小学校へ上がる前は、長く中国で過ごしていましたが、そのあとの教育はすべて日本で受けました。興味を持って自分なりに中国の歴史なんかも勉強しましたが、よっぽど日本の歴史の方が知ってます。両親は福建省の出身で、家族の会話は、日本語と福建の方言のちゃんぽん。だから、小さいころ話していた北京語(中国の標準語)は忘れてしまって、おとし1年間は、中国に留学をして言葉を磨きなおしました。それでも、日本語なまりの発音に、コンプレックスを感じています。

4月の市議会議員選挙に会議所のOBが出馬しましたが、自分には選挙権もない。外国人となると、事業を興すにも大変です。また、中国にいい印象を持たない人もたくさんいます。

それでも今は、どうしても日本国籍を取りたい、という気持ちにはなっていませんね。国籍を取るには、何度も入管に行って、書類もたくさん書いて、1年もかかる。めんどくさいというか、それならこのままでいいか、と…。

大和市最大のイベント「大和市民まつり」。その中でも、ひととき注目を集めるのが大和のB級グルメナンバーワンを決める「大和グルメ王座決定戦(Y-1グランプリ)」。今年このイベントを実行委員長として取り仕切ったのがこの人、大和東の中華料理店「中国料理 品珍酒家」店長の陳 勝さんです。

外国につながるのある子ども達は日本語を習得しながら、さらに教科の勉強もしなければいけないことで、とても苦労しています。ご自身の経験は。

自分ではよく覚えていないのですが、小学校に上がる時は、全く日本語は話せなかったはず。でも両親が心配して家庭教師をつけたり、塾に通わせたり…。その時は家の中でも中国語は禁止。だからあまり言葉で苦労した記憶はありません。

ただそれ以外のことで、なるべく忘れるようにしているような経験もたくさんしたし、「周りとは違う」ことに思い悩んだこともありました。自分の家の朝ごはんはおかゆだけ、友達の家は、パンに卵にベーコンらしい。毎日味噌汁が飲めたらやましいなどか思っていたし、みんなが普段食べているような料理が食べたくて、学校には、給食を食べるために行っているようなものでした。今は、そう思う必要はないと分かりますが、日本の文化の方が良いように感じていたんです。

大学卒業と同時にご両親のお店を継がれて、今では市内にいくつもお店が増えました。自分のルーツに誇りを持ちながら働く、日本で成功する、外国につながる子ども達の憧れをかなえていらっしゃいます。

それぞれ親族が経営しています。でも、店舗を経営するのは簡単ではないですね。特にまったく社会経験を積まずに家業に入ったので、最初は口のきき方ひとつ知りませんでした。青年会議所の仲間を通して、そして今回のY-1での経験から、人とのつながりが自分を支え、成長させてくれることを実感しました。子どもの頃、なかなか人とのつながりを持てなかった自分の経験からも、今、がんばっている子ども達には、ぜひ、恐れることなく、友達や仲間を広げていってくださることを願います。その存在は、必ず大きな支えになります。

もう一つ、学生生活は、限られた時間しかありません。だから、様々な世界を見て、多くの事に挑戦し、「経験」して欲しい。その中で一つでも「引っかけ」物が見つければ、自然と将来が見えてくるのではないかと思います。大人たちがその機会を与えてあげることが大切ですね。青年会議所でも、取り組んでいかなければと考えています。



TRAVEL SUPPORT Inc

トラベル サポート 海外正規割引航空券
ホテル・現地ガイドの手配もOK

TEL 046(204)7714 E-mail travel-support.h@gol.com



ニューデリー ビストロ

皆さんは高校生の頃、何をがんばっていましたか？

アスさんは今、大和でインド料理店の店長をがんばっています。



「ニューデリービストロ」は、去年の2月24日にオープンした大和駅からほど近いところにあるインド料理店。お店の名前を冠した『ビストロチキン』は、日本人の口にも合うようにとシェフが考えたオリジナルメニュー。炭火のタンドールで香ばしく焼き上げられたスパイシーな鶏肉は、ポピーシードの食感がアクセントになっています。

ドーサもおすすめ。南インド地方の米粉と豆粉でできたクレープで、朝食やおやつにと、インドではポピュラーな食べ物ですが、カレー屋さんの多い大和でも、非常に珍しいメニュー。カレー味のマッシュポテトが入っていて、ボリュームも十分。ナン、サフランライスに続くカレーのお供として、ぜひ挑戦していただきたいひと品です。

料理を作っているのは、シャルマ キリパールさん。長くインド、そして日本でインド料理を作り続けているベテランシェフ。そしてこのお店の店長が、キリパールさんの自慢の娘、アスさんです。

今から3年前、アスさんは、長く日本のインド料理店で働くお父さんの元へ、お母さん、お兄さん、妹と一緒にインドのニューデリーからやってきました。15歳のときのことで。

日本に行くのはいやだわと言っていたのはお母さんだけで、1、2年に一度インドに帰ってくる以外は、スカイプを通して話をするしかできないお父さんと一緒に暮らせるなんて！と兄妹は大喜びし



たそうです。(お母さんもすっかり日本に慣れて、お仕事を頑張っているそうですよ、よかった)。

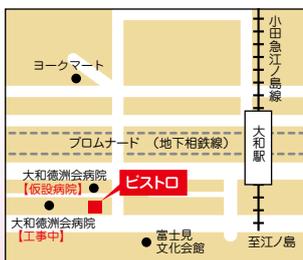
一家の住む家は、横浜にあります。義務教育の年齢にあったアスさんと妹のニーシャさんは、中学校に通い始めました。時にアスさんには、高校受験までたった3か月しか残されていませんでした。また、年齢を超過しているため、お兄さんのアピナッシュさんは学校には入れません。アピナッシュさんとアスさんは、3ヶ月間学校で勉強、「ABCジャパン」という横浜市鶴見区にあるNPO法人の学習支援教室で勉強、図書館に行つては勉強、と猛勉強の末、相模向陽館高校の合格を勝ち取りました。その1年後には、ニーシャさんも座間総合高校の門をたたくことに。

アスさんにとって、高校への入学が決まった時から、次の目標は、やさしくて面白くて料理上手の、大好きなお父さんと一緒に働くお店を作ること。

同じ高校に通うことになった頼れるお兄ちゃんと一緒にバイトに励み、1年後、大和にお店を構えた理由は、「高校が近かったから」。開店の2週間前からは、ずっとお店に泊まり込んで、壁のペンキ塗りから食器やテーブル、いすの買い出し、ビール納入業者の選定まで、すべてを一人で行いました。もちろん高校にも通いながら(しかもバイトも続けながらだったそう)。

今も学校が終わると、大切なお店に駆けつけて、妹と一緒にお父さんの作ったカレーを運び、従業員の仕事ぶりに目を光らせ、お店の会計を管理しています。

高校を卒業するまであと2年。今の目標は「キャピアンアテンダント」なんだそうです。



住所：大和中央4-4-7
 電話番号：046-244-6266
 営業時間：ランチ 11:00~15:00
 ディナー 17:00~22:00
 定休日：無休
 駐車場：最寄りのコインパーキングをご利用ください



(アスさん)

(ニーシャさん)

ちなみに、ビジネスの才能を発揮したお兄ちゃんは、姉妹店スパイスガーデンを東京都港区に開き、高校に通いながらゼネラルマネージャとして、2つのお店を行ったり来たりしているそうです。

地域密着・顧客密着のクリエイティブ集団

SINCE 1885



似顔絵名刺で
集客! UP

会話の
きっかけに
なる

キャラクターで
売上! UP

一目で
イメージが
伝わる

デザイン

似顔絵
キャラクター

販促支援

印刷

広告

ホーム
ページ



さん太くん

ご相談無料

株式
会社

さんこうどう

<http://www.sankodo.ne.jp/>

0120・3510・13

地域国際関係団体・活動一覽

	団体名	活動場所	活動内容
NPO法人	かながわ難民定住 援助協会(援助協会)	〒242-0014 大和市上和田1784-10	日本語教室・学習室(および受験教室)の開催のコーディネート/日本語集中講座・文法講座の開催
	教育支援グループ Ed.ベンチャー	〒242-0007 大和市中央林間3-16-12-107	●学校支援活動 理論学習会/授業研究会(小5・6教室)/教育講演会/学校相談・教師相談 ●外国人支援活動 日本語教室/保証人事業/すたんどばいみー基金の会/子どもの居場所・学習支援教室/当事者活動支援 ●東日本大震災支援事業
	日本ペルー共生協会 (AJAPE/アハベ)	〒194-0012 町田市金森5-12-1	●定住外国人の子どもの就学支援(小・中学生、高校受験生) ●学習支援(小学生、中学生、高校生) ●スペイン語圏の母語による教育相談 ●母語教室(第1~3日曜日午後・文化と共に学ぶスペイン語) ●スペイン語教室(大人対象土曜日夕方) ●バイリンガル教師養成講座
日本語教室	お父さんとお母さんの ための日本語教室	渋谷中学校開放 「下和田の郷」	毎週日曜日 10:00~12:00
	かけはし	保健福祉センター4階ほか	毎週金曜日 10:00~11:30
	かたつむりの会	青少年センター	毎週土曜日 10:00~12:00
	つきみ野あいうえお	つきみ野学習センター	第1~第4金曜日 13:30~15:00
	日本語サークルおでん	青少年センター	火曜日(月3回) 18:30~20:00
	やまと・ともだち	桜丘学習センター	毎週金曜日 19:30~21:00
	やまびこ	保健福祉センター4階	毎週木曜日 19:00~20:30
	らんどせる	渋谷学習センター	日曜日 11:00~13:00
	大和日本語教室	保健福祉センター4階	毎週日曜日 10:20~12:30 ※学習支援も有
	つま読み書きの部屋	月曜日 保健福祉センター 火曜日 生涯学習センター	年3回(6月~7月、11月~12月、2月~3月) 月曜日 19:00~21:00 火曜日 10:00~12:00
学習支援教室	あけぼの教室	援助協会事務局	第2、3、4土曜日 10:00~12:00
	高座渋谷学習室	いちょうコミュニティハウス	毎週土曜日 13:30~16:00
	すたんどばいみー	渋谷中学校学校 開放スペース・会議室	小学生教室(対象:就学前~小学生) 毎週土曜日 13:00~16:10 中学生教室(対象:中1~中3) 毎週月曜日 18:00~21:00 高校生教室(対象:高1~高3) 毎週土曜日 19:00~21:00
	エステレージャハッピー	林間小学校開放	毎週土曜日 10:00~12:00
交流団体	バラード	保健福祉センター4階他 (詳細はHPに掲載します)	お花見会、バスハイク、クリスマス会 他
	やまと国際フレンドクラブ (IFC)	詳細はHPに掲載します。	●やまと国際アートフェスタ ●夏休み学習教室「学べ〜る」 ●やまと国際交流パーティーなど

問い合わせ	
会長 櫻井 ひろ子 TEL/FAX: 046-268-2655 http://www.enjokyokai.org Email: nanmin@enjokyokai	
代表 浅沼 蓉子 TEL/FAX: 046-272-8980 http://www.edventure.jp/ Email: toiwase@edventure.jp	
理事長 パラシオス パウロプスキ アルベルト TEL/FAX: 042-799-2023 スペイン語 TEL: 090-7834-6653 http://ajape.org/ Email: ajape@jcom.home.ne.jp	
(平日) Ed.ベンチャー事務局(上記参照) (土・日) 武内 TEL: 046-255-4949	
中村 浩 TEL: 044-989-5217	
葛島 洋子 ※援助協会(上記参照)	
山岡 千恵子 TEL: 046-293-5435	
千葉 知義 ※援助協会(上記参照)	
沢井 和子 TEL: 046-275-8310	
塚口 伊代子(英語可) TEL: 090-4436-8104	
長谷川 信子 ※援助協会(上記参照)	
酒井 達男 ※援助協会(上記参照)	
大和市役所国際・男女共同参画課 TEL: 046-260-5164 http://www.enjokyokai.org/turumayomikakinoheya/index.html	
※援助協会(上記参照)	
齋藤 千夏 ※援助協会(上記参照)	
宮脇 英理(ベトナム語可) TEL: 090-6113-3163 チュープ サラーン(カンボジア語可) TEL: 090-6497-8128 劉 麗鳳(中国語可) TEL: 090-9342-7734	
(平日) Ed.ベンチャー事務局(上記参照) (土・日) 角替 TEL:090-7219-7362	
中村 勝 TEL: 046-263-6905 http://ballade-yamato.com/	
長谷部 美由紀 TEL: 080-5451-0432(IFC事務局) Email: info@ifc-yamato.com http://ifc-yamato.com	

地域国際関係団体からのお知らせ

詳細は、左の表を参照し各団体にお問い合わせください。

やまと国際フレンドクラブ

夏休み学習教室「学べ〜る(まなべ〜る)」

外国にルーツを持つ子どもたちのための教室です。夏休みの宿題、日頃の学習のわからないところを高校生、大学生ボランティアが教えてくれます。ぜひ一緒に勉強しましょう。参加希望の方は、上記やまと国際フレンドクラブまでご連絡ください。定員は40名です。

日時：2015年8月3日(月)・4日(火)・5日(水) 午前10時～12時

場所：大和市保健福祉センター4階 講習室

費用：3日間で300円(コピーのみもの代等)

※参加日数が変わっても同じです。当日集金します。

持ち物：教科書、宿題、ワークブック、筆記用具など

かながわ難民定住援助協会

「日本語集中講座」

日時：2015年9月24日(木)～12月11日(金) 毎週月・火・水・木・金曜日
午前9時10分～12時(全54回)

場所：大和市生涯学習センター・保健福祉センター 他

対象：簡単な会話ができて、ひらがな、カタカナが読めて書ける人

定員：先着20名

費用：30,000円 別に教材費が必要です。

(一旦納入された受講料は一切返却しません)

*レベルチェック 9月17日(木) 午前には必ず参加してください。(大和市生涯学習センター)

日本ペルー共生協会(AJAPE)

スペイン語圏の人のための日本語教室(2015年)

日本で生活するのに必要な日本語の力を身に付けるための日本語教室を開催します。受講者のレベルに応じN1、N2、N3レベルにクラス分けをします。日本語能力のレベルアップを目指している方、コミュニティの人たちをサポートしようと思っている方はぜひご参加ください。(注：初級者のクラスは今回はありません)

対象・定員：高校生～大人 各クラス 先着15名まで

開催月日：土曜日 6月27日～11月14日(全14回+1回 オリエンテーション)
6/27, 7/11, 18, 25, 8/1, 8, 29, 9/5, 12, 19, 10/3, 10, 17, 11/7, 14

午後6時～8時30分

場所：町田市民フォーラム

受講料：なし 但し、利用会員費と資料代として4,000円

6月27日《土曜日》の午後6時から、オリエンテーションとレベルチェックのテストを行います。詳細はお問い合わせください。

仲間になりませんか?

「大和日本語支援ボランティアネットワーク」があります。

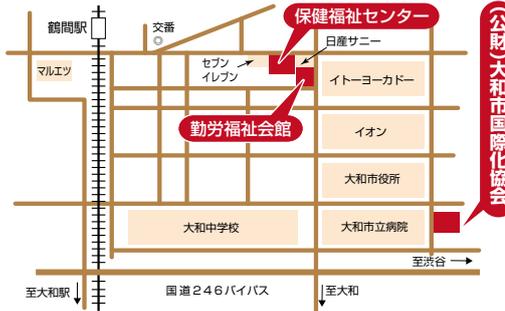
大和市内で活動しているボランティアの日本語教室が参加しているネットワークです。年に1度集まって課題を共有したり、イベントで地域の日本語教室の活動を案内したり、メールリストを利用して情報交換したりしながら、外国人市民のための日本語学習サポートの充実を図っています。

個人で加入することもできますので、地域での日本語ボランティアに興味がある方はぜひ、国際化協会事務局までお問い合わせください。

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

講座、イベントへのお申し込み、お問い合わせは国際化協会事務局までお願いします。

■公益財団法人大和市国際化協会
〒242-0018 大和市深見西8-6-12
大和市役所分庁舎2階(大和市立病院の東側)
Tel:046-260-5126 Fax:046-260-5127
Email:pal@yamato-kokusai.or.jp
http://www.yamato-kokusai.or.jp
受付時間 月曜～金曜 第1・3土曜
午前8時30分～午後5時



マークの見方

- …日時
- …場所
- …定員
- …費用
- …対象
- …内容
- …講師
- …お申し込み方法

第10回 にほんごで話そう！日本語スピーチ大会

小学生から成人までの外国人スピーカー15名が、日頃の思いをにほんごで話します。どなたでも自由に観覧頂けますので、ぜひご来場ください。

- 7月12日(日) 午後1時開場 1時30分開始
- 大和市勤労福祉会館3階(上記地図参照)
- 不要です。直接会場までお越しください。



健康セミナー ～料理教室編～

大和市国際化協会は、外国人市民を対象に健康セミナーを開催します。生活習慣病を予防し、おいしくて手軽な食事を実際に作ってみませんか?参加希望者を先着順に受け付けます。簡単な日本語で行いますが、通訳が必要な方はご相談ください。

- 7月21日(火) 午前10時～午後1時
- 大和市保健福祉センター3階栄養指導室
- 調理実習(食生活改善推進員による調理指導)
むぎごはん、いわしのかばやき、レタスのスープ
- 対象 外国につながる方20名(親子で参加できます)
- 大人:300円 こども:200円
- 持ち物 エプロン、三角巾(バンダナ)、食器を拭くタオル
- 申し込み 国際化協会窓口もしくは電話で先着順に受け付け中



スペイン語(入門)と南米文化紹介講座

- 2015年8月28日～12月18日の期間に全15回
(12月25日は予備日) 9月4日、11月13日はお休み
毎週金曜日 午後6時から7時30分 全15回
- 大和市役所分庁舎2階会議室
- 内容 簡単な会話と南米の文化、習慣について学びます
- 楠 瑠美子先生
- 対象 初めてスペイン語を学ぶ方 定員は15名
- 12,000円 賛助会員の方は500円割引
- 申し込み 7月1日から、国際化協会窓口もしくは電話で先着順に受け付け

やまと世界料理の屋台村 出店者を募集します。

10月25日(日)に大和駅東側プロムナードで開催するこのイベントへの出店を希望されるエスニック料理店は、8月1日(土)から当協会窓口もしくはHPで配布する申込書に必要事項を記入して、8月24日(月)(必着)までにお申し込みください。募集数は11店舗で出店料は20,000円です。応募者多数の場合は、同じ国のメニューが重ならないよう、こちらで出品内容(料理)を確認し、調整させていただきます(詳細は応募要項でご確認ください)。※写真は昨年の様子



ゆっくりとお別れのできる 一日一家族の葬儀式場

家族想いの 大和式礼

ご自宅でのご安置にお困りの方、当館霊安室でお預かりできます。

大和式礼 ☎0120-143-011 年中無休 24時間受付

大和市大和東 2-9-13 相鉄線・小田急江ノ島線「大和」駅北口より徒歩約6分



<http://www.sikirei.com/>

大和斎場でのご葬儀もご用命ください。